

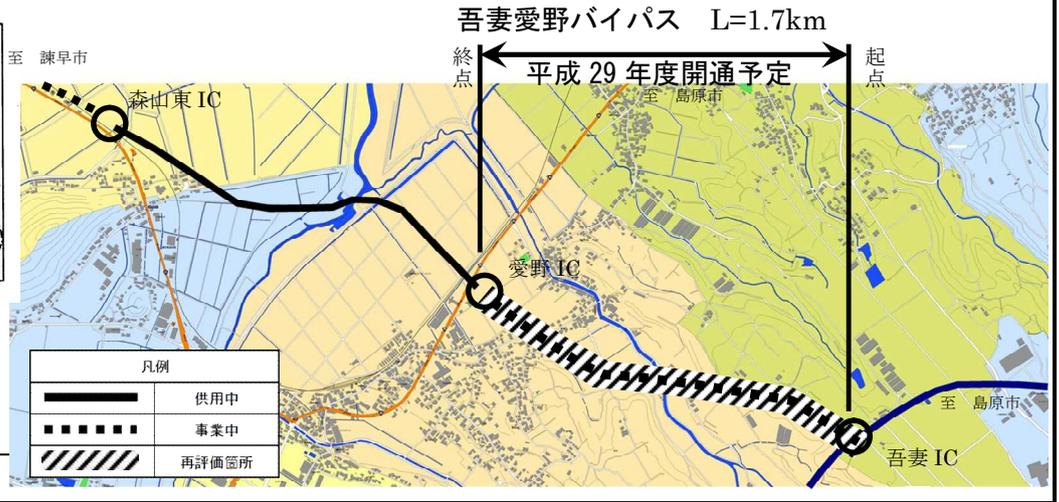
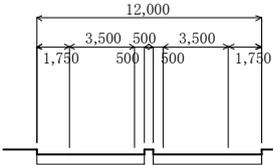
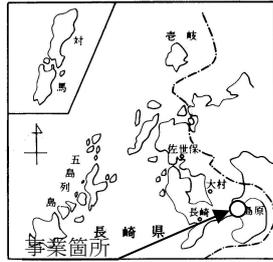
## 再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

事業名	地域高規格道路 島原道路 一般国道251号吾妻愛野バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	白：長崎県雲仙市吾妻町 至：長崎県雲仙市愛野町			延長	1.7 km
事業概要	国道251号吾妻愛野バイパスは、地域高規格道路島原道路の一部を構成する道路であり、地域間の交流促進、産業の振興・経済活動の活性化に寄与することを目的とした延長1.7 kmの道路である。				
H23年度事業化	都市計画決定 なし	H24年度用地着手	H25年度工事着手		
全体事業費	71.0億円	事業進捗率	66%	供用済延長	— km
計画交通量	7,100台/日（H42）				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 2.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 29/67億円 〔事業費：29/66億円 維持管理費：0.46/0.46億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 83/83億円 〔走行時間短縮便益：57/57億円 走行費用減少便益：16/16億円 交通事故減少便益：9.1/9.1億円〕	基準年	平成27年
感度分析の結果	残事業（全体事業）について感度分析を実施 【全体事業】交通量：B/C=1.1~1.4（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.1~1.4（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.1~1.3（事業期間±20%） 【残事業】B/C=2.4~3.2（交通量 ±10%） B/C=2.6~3.1（事業費 ±10%） B/C=2.7~2.8（事業期間±20%）				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域間の連絡時間短縮による地域振興及び緊急医療の支援</li> <li>・ 産業、観光分野の発展および緊急医療活動への支援</li> <li>・ 災害時にかかる緊急輸送道路としての機能強化</li> </ul>				
関係する地方公共団体等の意見	「雲仙市」・「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」より整備促進の要望が行われている。				
事業評価監視委員会の意見	長崎県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	島原道路の一部である愛野森山バイパス（L=1.8km）が平成25年12月に開通。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率100%、事業進捗率約66%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き工事及び用地取得の推進を図り、平成29年度の事業完成を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	今後も新技術の採用等による工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図

位置図



凡例	
	供用中
	事業中
	再評価箇所

- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。